

R&S®NGL200

vs GW INSTEK PPH-1503/1503D



主な特長

- 最小限のオーバーシュートと超高速過渡応答時間で出力電圧を高速で調整
- ノイズの影響を受けやすいDUTに干渉のない電圧を供給するための最小残留リップルとノイズ
- 最大6½桁の測定分解能で、スタンバイモードでの低消費電力と全負荷動作での高電流を備えたデバイスの特性評価に最適
- 2象限：ソースまたはシンクとして動作

利点	特長
最小限のオーバーシュートで最適化された過渡応答時間	困難な負荷条件下でのオーバーシュートを最小限に抑えながら<30 μsの最適化された過渡応答時間を実現するため、R&S®NGL200は、スリープモードではほとんど電流を必要とせず、送信モードに切り替えると急激に電流を増加させるIoTなどのバッテリー駆動の機器をテストするのに最適です。
低リップル/低ノイズ	複雑な半導体などの繊細な設計に干渉のない電圧を供給し、電力増幅器やMMICの開発を支援します。
シンクとソースの操作	R&S®NGL200シリーズのリニア2象限出力アンプ設計により、シンクおよびソース動作でバッテリーおよび負荷をシミュレートすることができます。
6½桁の分解能	電圧、電流、電力を測定する場合、R&S®NGL200シリーズは、最大6½桁の分解能を持ち、待機時消費電力が少なく、全負荷動作で大電流のデバイスの特性評価に最適です。多くのアプリケーションで追加のDMMを置き換えることも可能です。

▷ 詳細はこちら

www.rohde-schwarz.com/catalog/ngl200

パラメータ	R&S®NGL201/NGL202	GW INSTEK PPH-1503/1503D
チャンネル数	1 / 2	1 / 2
チャンネル当たりの出力電圧	0 V ~ 20 V	0 V ~ 15 V (チャンネル 2: 12 V)
最大チャンネル当たりの出力電力	60 W	45 W
最大チャンネル当たりの出力電流	≤ 6 V 出力電圧: 6 A > 6 V 出力電圧: 3 A	≤ 9 V 出力電圧: 5 A > 9 V 出力電圧: 3 A
最大チャンネル当たりのシンク電流	3 A	2 A / 3.5 A
電圧リップルとノイズ (20 Hz~20 MHz)	< 500 μV (RMS) < 2 mV (ピーク・ツー・ピーク)	< 1 mV (RMS) < 8 mV (ピーク・ツー・ピーク)
電流リップルとノイズ (20 Hz~20 MHz)	< 1 mA (RMS)	N/A
過渡応答時間 (20 mV)	< 30 μs	< 80 μs
プログラミング分解能	1 mV / 0.1 mA	2.5 mV / 1.25 mA
リードバック分解能	10 μV / 10 μA	1 mV / 100 μA
リードバック精度、電圧	< 0.02 % + 2 mV	< 0.05 % + 3 mV
リードバック精度、電流	< 0.05 % + 250 μA	5 A レンジ: < 0.2 % + 400 μA 5 mA レンジ: < 0.2 % + 1 μA
保護機能	OCP / OVP / OPP / OTP	OCP / OVP / OTP
任意 (最小ステップ)	QuickArb (1 ms)	シーケンス機能(1 ms)
リモートコントロールインターフェース	標準: USB / LAN オプション: WLAN / IEEE-488 (GPIB)	標準: USB / LAN / IEEE-488 (GPIB)
ディスプレイ	5" 800 x 480 WVGA cap. タッチパネル	3.5" TFT LCD ディスプレイ
寸法 W x H x D	222 mm x 97 mm x 436 mm	222 mm x 86 mm x 363 mm
質量	7.1 kg / 7.3 kg	approx. 4.2 kg / 4.5 kg

R&S®NGL200 シリーズと GW INSTEK PPH-1500 シリーズ



R&S®NGL200 シリーズ

- 2筐体、1または2チャンネル
- 出力電力：1チャンネルあたり 60 W
- 出力電圧：1チャンネルあたり0 V ~ 20 V

GW INSTEK PPH-1500 シリーズ

- 4筐体、1または2チャンネル
- 出力電力：Ch1：45 W、Ch2：18 Wまたは 36 W
- 電圧：
 - Ch1: 0 V to 15 V,
 - Ch2: 0 V to 12 V



R&S®NGL200 シリーズ： 全チャンネルで同じ機能



R&S®NGL202

- 両チャンネルとも
- 1チャンネルあたり60 W
- 0 V~20 Vの出力電圧
- 2チャンネルで同じ機能

GW INSTEK PPH-1503D

- チャンネル1と2は異なります
- Ch 1は45 W、Ch 2は18 Wの電力を供給します。
- Ch 1は0 V~15 V、Ch 2は0 V~12 Vを供給
- 一部の機能は1チャンネルのみに制限されています



R&S®NGL202とGW INSTEK PPH-1503D：両方とも2つのチャンネルを持ちます

ソースとシンクと6½桁の解像度



最大6½桁の分解能は、スタンバイモードでの低消費電力と全負荷動作での高電流を持つDUTの特性評価に最適です。

R&S®NGL200の電源は自動的にソースモードからシンクモードに切り替わります。負荷として動作していることは、負の電流値で示されます。

大型タッチスクリーン - 電源の新基準



操作の中心は大型の静電容量式タッチスクリーンです。800 x 480ピクセルという非常に高い解像度を備えたこのディスプレイは、遠く離れた場所でも電圧と電流のフィールドを簡単に読み取ることができます。さらに、電力値や統計などの情報を表示できます。アイコンは、セット保護または特別機能のステータスを明確に示しています。



本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル27 階
 URL : <https://www.rohde-schwarz.com/jp>
 ご購入に関するお問い合わせ
 TEL : 0120-190-721
 FAX : 03-5925-1290/1285
 E-mail : Sales.Japan@rohde-schwarz.com
 電話受付時間 9:00 ~ 18:00
 (土・日・祝・弊社休業日を除く)

R&S®は、Rohde&Schwarz GmbH&Co. KG の登録商標です。商号は所有者の商標です
 PD 3607.9414.36 | Version 01.00 | January 2019 (af)
 R&S®NGL200 versus GW INSTEK PPH-1503/1503D |
 許容範囲のないデータはバインドされていません | 変更の可能性があります© 2019
 Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG | 81671 Munich, Germany